

1 1月のテーマは「平成 23 年度 入職者の半年の振り返りコメント」です♪♪

さてさて、H23 年度もはや半年が過ぎました。

ということは、今年度入職した新人さんたちも半年の経験を積んだということになります。

そこで！

今回は、新人さんたちにこの半年を振り返ってもらって、色々と貯め込んでいる本音を聞いていきたいと思います。

例にもよって新人さんたちにアンケートを実施しました。またアンケート！？と思いの方もいらっしゃると思いますが、またアンケートです。

アンケートの質問と結果は以下の通りです。

対象者

PT 3名 OT 1 名

質問

①現場に出て新しく学んだことを一つ教えてください☆



- ・ 社会人として行う「報連相」を学びました。
- ・ 各職種間での連携の大切さ。
- ・ 理学療法士として患者さんに関わるということは、リハビリをして機能や能力を向上するということではないということ。私たちが関わることによって患者さんに与える影響は思っていた以上に大きいと感じています。
- ・ 疾患だけではなく、患者さん自身を見ていくことです。生活背景や性格など把握することなど。

② PT・OT プロセスについて、学校と違うと感じた点を教えてください☆☆

- ・ 一人だけを担当しているわけではないので、時間内に業務をしなくてはならない点。
- ・ 患者さんに対して大きな責任がある点。
- ・ 学校では ROM、MMT などの検査を正確にできることがまず重要でしたが、現場ではそれに加えて短時間でスクリーニングができなければならないこと。その患者さんに必要な検査・評価を選択して行うことが求められると感じました。また、在宅復帰を目指して理学療法をすすめていくためには、いかにその人の生活を具体的にイメージできるかが大切だと思いました。
- ・ 一つ一つの評価を、時間をかけて行ってきたのですが、まず問題点を見つけてからの評価（トップダウン）になったこと。一人の患者さんに一日のうちに介入できる時間が限られているので短時間・短期間で評価・治療を行わなければならないこと。



③患者さんを担当して、セラピストになって良かったと思う出来事を教えてください☆ (^u^)



- ・患者さんが無事退院し、そのとき「ありがとう」と言われたこと。
- ・患者さんの状態が良くなって退院されるときに少しでも自分が貢献できたと感じられたこと。
- ・「担当者が〇〇さんで良かった」と言って頂いたとき。介入し始めた頃はリハビリに消極的でなかなか動けなかった患者さんが歩けるようになり「リハビリがんばってくれたからこんなに良くなりました」と笑顔で言って頂いたこと。
- ・「ありがとう、あなたが担当してくれて良かった」と言って頂いたとき。
歩くのが難しいと思っていた人が歩いて退院されたとき。

④落ち込んだ出来事を一つ教えてください☆

- ・患者さんに拒否されたとき。
- ・訓練が面白くないと患者さんに言われたとき。
- ・担当患者さんの全身状態が悪くなり病棟を歩いていたのに寝たきりになってしまったとき。
リハビリではどうにもならないこともあると感じて悔しかったです。
- ・患者さんの容態が悪化したとき。(歩いていた人が人工呼吸器を装着しないとイケない状態になったとき)

⑤入職して良かったと思う点を2つ教えてください☆

- ・幅広い疾患の方を担当することができる。
- ・先輩の人数が多くたくさんの意見を聞くことができる。
- ・色々なことが学べる環境にある（勉強会が多い）。
- ・相談をしやすい。
- ・急性期、回復期両方の患者さんを担当させていただける。
- ・リハビリ課には個性の強いスタッフが多いですが、どの先輩も親身に相談に乗ってくださる。
- ・一人の患者さんを入院から退院まで介入していくことができた。
- ・まわりの先輩方がとても優しく、適切なアドバイスを頂ける場所。



以上、今回は新人さんの半年の振り返りコメントでした！！

新人のみなさん、ホームページ用のコメントをありがとうございました(笑)。冗談です・・・

本当のところ新人さんの成長が目に見えて分かるのでとても嬉しいです。

今後も成長し続けるリハビリテーション課です！！ (>u<) P